

外国人

一年二組

栗原

沙希

私は外国人という話題について考えてみま

した。私自身と見た目がちがう人、似ている

けど言葉や行動、食べるものがちがう人、さ

まざいます。ちがう場所で生まれてその土

地で育ってきたのに、なぜか差別とい

うか、偏見がある。たとえば、出かけた時お

店の店員さんが外国人の方で一生けん命作

て売っているのに黒人だから清潔に見えない

と思っ、て購入するのをやめてる人がいた。言

葉に出してやめようと言ってる人がいて、そ

れを聞いた時心がとても痛んだ。何も汚くな

いし同じ人間なのにどうしてだろうと思っ、

お母さんに言っ、た。お母さんは私にこう言っ、

た。

「お母さんも同じようなことがあっ、て、前の

会社は飲食店をやっ、ている会社だっ、たが、そ

の会社の社長さんが外国人の特に黒人は、そ

の人が作っ、ているもののおいしく見えないと

か、会社に人を増やしたくて募集しても、外国人は採用しないとかあったよ。と教えてくれた。お母さんはそんな事を言った社長さんに共感を持てず、後に会社を去ったと言っていた。お母さんがこれも教えてくれた。

ある会社では、積極的に外国人を受け入れようとしてその人の国まで会社の人が行って働きたいと思う人と面談をして何年か日本で働く契約をするんだよ。

と言っていた。また、日本で働きたいと希望している外国人は、日本語の勉強やマナーなどすごく勉強してでも日本で働けることを夢みてる人が多いということも教えてくれた。お母さんからその話を聞いた私は、日本でも同じく外国で働きたいと思っている人はたくさん勉強している人もいる。外国に行ったら私もまた外国人となる。それなのに、差別のようなことを私たちがされたら、気持ちの

いいものではかいし、嫌な気持ちになるのに
日本ではそれをしていく人たちが目の前にい
たことがとてもショックでした。

私たちはこの先たくさんの方と外国人とも接し
たりする機会が多くなると思います。もちろ
ん同じ人間であり同じ目標に向かっている人は
たくさんいます。私はこの先ずいぶん外国人の
人たちと色々なところで関わりを持つような
時は、日本人同士で接しているのと同様に、思
いやりの気持ちをもって相手の立場に立って

物事を考えられるような人間にかりたいと思
います。外国人によって、私たちの身の回り
のことで助けられている面がたくさんあると
調べると書いてあった。これから、それが具
体的にどんなところで助けられているのか見
ていきたいと思いました。